

芸術文化のまちづくり

芸術文化の風薫る

芸術文化のまちづくり条例に基づき、芸術文化推進会議を設置し、芸術文化推進基本計画を住民とともに創り上げます。住民の芸術文化活動を支援するとともに、「芸術文化ポータルサイト」を活用した情報発信を行います。



子どもの居場所

子ども食堂への支援

子どもの食事や学習、遊びの場を提供する子ども食堂の取り組みに関して、安全管理等に対する支援を行います。就学援助については小中学校の新入学用品費を増額するなど、保護者の経済的負担を軽減します。



給食の充実

食でつながる心

MIYOSHI オリンピアド給食としてオランダやマレーシアの料理を提供して国際交流への関心を高めるとともに、みよし野菜を使った学校給食でより良い食習慣を作ります。また、給食費の公会計化に向けてシステムを準備します。



MIYOSHI オリンピアド



柔道連盟会長
Felix Thieme 氏



オリンピック委員会
国際交流主任
Herbert Wolff 氏

ホ スタウン交流を行っている三芳町とオランダ女子柔道チーム。より深い交流をめざすため、1/16 (水)～1/23 (水)でオランダのオリンピック委員会と柔道連盟を訪問しました。オリンピック委員会の国際交流主任 Herbert Wolff 氏は「2020 東京オリンピックを前に選手たちが日本の精神を含め様々なことを知っておくのはとても大切なこと」と話し、ホスタウン交流を推奨しました。

そして、柔道連盟会長の Felix Thieme 氏とトレーニングキャンプなどについての覚書を交わし、長い関係性を築いていきたいと固い握手を交わしました。東京オリンピック・パラリンピック開催までの期間“MIYOSHI オリンピアド”。4月に新設する MIYOSHI オリンピアド推進課を中心に、オリンピズムによるまちづくりムーブメントをめざし、様々な取り組みを進めていきます。

歴史・文化財

先人たちが残した宝

遺跡の発掘調査をし、文化財の指定や古文書の修復を進めます。車人形や里神楽、各地区のお囃子など郷土芸能は体験教室や後継者育成などの支援をします。旧島田家住宅では三芳の歴史や文化、季節の営みを紹介していきます。



よみ愛・読書のまち

貸出冊数 17年連続 1位

図書館は住民 1 人あたりの貸出冊数が 17 年連続県内 1 位になりました。製作した“よみ愛・読書”ふるさと絵本の活用、家読、読み聞かせなど「よみ愛・読書のまち」を推進し、読書の喜びを共有できるまちづくりを進めます。



スポーツの推進

めざせオリンピック

ハンドボール強豪の大崎電気の協力により、ジュニアチームの運営やハンドボール教室を開催します。他にもスポーツ奨励金制度による支援、ツールド東入間・三芳クリテリウムへの支援、総合体育館の修繕工事を行います。



健康長寿

フレイル予防に重点

加齢による心身機能の低下（フレイル）の予防のための筋力アップ講座など効果の高いプログラムを引き続き行います。がんの早期発見・治療に向けて検診の受診率を向上させ、一人ひとりの健康の保持・増進に努めます。



安心な子育て

切れ目ない支援

子育て世代包括支援センターを健康増進課に移管、不育症・不妊症に悩む人への支援や妊娠期の各種検査、新生児の聴覚検査の助成、“よみ愛”ブック LOVE、児童虐待防止に向けた取り組みなど切れ目ない支援を行います。



学校トイレ洋式化

施設改修・修繕

小中学校のトイレについて順次、洋式化を図ります。新年度は三芳小学校、唐沢小学校の改修工事、竹間沢小学校の設計を行います。確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む学び舎となるように改修等を計画的に行います。



教育の支援

子どもたちの未来

みらいのぞみ学校創造支援事業の推進、小学校の ALT の増員や英検受験料の補助、ICT を活用した授業、水泳指導の充実、特別支援学級介助員の増員など、子どもたちが自らの力で未来を切り開いていけるように支援します。



協働のまちづくり

誰もが活躍できるまち

協働を取り巻く環境の変化を踏まえ、新しい協働の方向性を示す第 3 次協働推進計画を策定します。地域連携避難訓練、ささえあい・みよしなど多様な分野での住民参画が進む中、幅広い住民・団体・企業との連携を推進します。



姉妹都市 PJ 市

進む国際交流

姉妹都市であるマレーシアのペタリングジャヤ市からは昨年のみよしまつりにパフォーマーが来訪しました。PJ 市のフォークロアフェスティバルへの参加、研修プログラムへの中学生派遣、教員相互交流などこれからも絆を深めます。

